

顔認証技術やAIなどの新技術を搭載し、 社会とお客さまのニーズの変化に対応した 『第4世代ATM』

ライフスタイルの変化、スマートフォンの普及、決済手段の多様化など、時代の変化に対応した次世代機第4世代ATMの導入を2019年9月より開始いたしました。

第4世代ATMは、顔認証による本人確認やバーコード読取りに対応し、現金入出金を主とした従来からのATM取引に留まらない、多機能型プラットフォームとして、新たなサービス、新たなATM利用スタイルの可能性を飛躍的に広げます。

また、AIを活用した現金の需要予測の高度化や各種部品の故障予測を行い、更なる運営の効率化を目指します。

変化への対応

独自性・差別化

新機能を集約したサブディスプレイ付きの操作エリアを実装しました。各機能の組合せにより、キャッシュレス決済やライフスタイルの多様化等、変化する社会とお客さまニーズを捉えた、様々な新サービスの実現を可能にします。

選ばれるATMへ

技術革新

AI・IoTなどの活用により、従来の第3世代ATMと比較し、更なる運用コストの削減を目指します。

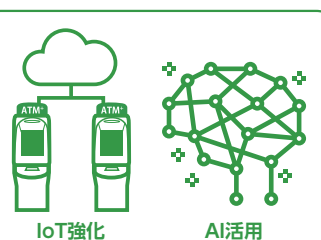
運用効率の
更なる改善

・高機能カメラと高精度の顔認証技術により、迅速かつセキュアな本人確認を実現可能に。



・電子マネーなどのチャージを可能にする非接触ICの読取り機能に加え、運転免許証やマイナンバーカード、パスポートなどの本人確認書類の読取りや、QR※/バーコードの読取り機能を実装。
・Bluetoothによる通信機能を実装し、スマートフォンとの連携をスムーズに。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



・センシング(様々な情報を計測・数値化する技術の活用)とデータ収集の強化により休止予兆の検知や予防保守の最適化を実現。
・AIを活用し、ATMの現金需要予測により、現金切れなどによるATM休止を低減。



第4世代ATMのコンセプト

できたらいいなを、
プラスしていく。 **ATM+**

2019年。ATMも、新時代へ。新しい便利が、はじまります。それが、セブン銀行の「ATM+」です。スマートフォンとの連携を強化し、もっと身近に。もっと手軽に。顔認証による手続きの迅速化と安定性の向上など、より使いやすく。時代の変化とニーズを捉え、幅広い世代のライフスタイルやビジネススタイルに、最適なサービスを提供します。「ATM+」は、様々なビジネスパートナーとともに、未来のイノベーションを、みんなのものにするプラットフォーム。社会の持続可能性を常に見据えながら、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」を進化させてまいります。

これまでになかったサービスを、つぎつぎとカタチに。これまであったサービスは、ますます便利に。そして、もちろんすべてのサービスを、安心・安全に。「+」は、ATMの無限の可能性と私たちの未来への姿勢のあらわれです。

セブン銀行のATMは、**ATM+**に生まれ変わります。

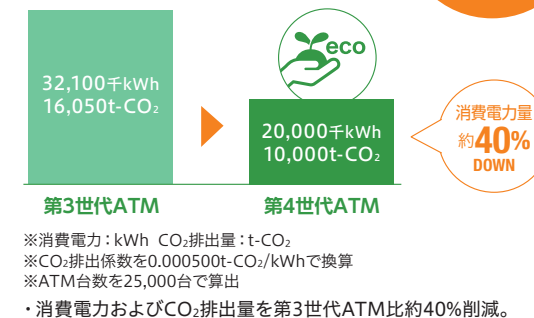
● 展開スケジュール



基本の徹底

環境への配慮

社会の持続可能性も見据え、環境配慮性能を更に向上させます。



気候変動
問題への
取組み

セキュリティ・金融犯罪対策

デジタル化の進展に伴い、高度化・巧妙化する犯罪に対し、セキュリティを更に強化。いつでも、安心・安全にご利用いただけるサービス提供を行います。



安心・安全な
決済インフラを
提供

使いやすさの追求

大きく見やすいディスプレイに、大きな文字・余白のあるシンプルなデザイン、快適にご利用いただける環境をご提供します。

更なる
利便性の向上



・つつみ込むような形状の大型バイザーにより、のぞき込みの不安を低減し、プライバシー空間を拡大。

画面サイズ
20%UP
※第3世代ATM比

カラーユニバーサルデザインの認証取得



・ATM本体および取引画面において、カラーユニバーサルデザインの認証を取得。見やすく読み間違えにくいデザインの文字は、ユニバーサルフォントを採用。
・荷物置き、つえ置き、インターホンの位置などを、車いすの方でもご利用しやすい位置に設置し、ユニバーサルデザインを強化。

次世代機『第4世代ATM』の新機能活用例

～あらゆるサービスの本人確認プラットフォームを目指して～

第4世代ATMには様々な新しい機能が備わっています。これらの機能を活用し、変化する社会、多様化するお客さまのニーズに対応した新たなサービス、新たなプラットフォームとしてのATM利用スタイルを検討しています。

2019年10月から12月には第4世代ATMの新機能を使って、非対面でのセブン銀行口座開設受付の実証実験を行いました。この実証実験では、高性能カメラを活用した顔認証機能や、多機能操作エリアに備えつけられたスキャナーによる本人確認書類の読取り機能を使って、非対面での本人確認手続きがスムーズに行えるかを確認するとともに、お客さまの利便性や口座開設業務における課題箇所の特定等を検証しました。この実証実験の検証結果を参考に、これまで以上に安心・安全で便利な口座開設の実現を目指します。

第4世代ATMを活用し、実現したい世界

銀行等の口座開設や会員登録等が必要な各種サービスの申込み、変更届など金融・非金融サービスの様々な場面で“本人確認”が必要な時代。第4世代ATMを活用し、手続きをもっとかんたん・便利に、さらに安心・安全に実現できないか考えました。



来店



郵送



メール・電話

社会環境の変化

2018年11月の犯罪収益移転防止法改正により、犯罪や不正防止強化だけではなく、技術革新を取込んだ新たな本人確認手段が加わりました。

従来の本人確認手段
対面での本人確認



追加 新設された本人確認手段
写真付き本人確認書類と
本人の容貌画像による認証



マッチング

次世代機『第4世代ATM』の新機能・新サービスにより差別化

利便性の向上と強い信頼関係

セブン銀行は創業以来、ATMをご利用されるお客さまに「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」使えるATMサービスを提供すると同時に、提携金融機関等にセブン銀行のATMネットワークのインフラや運営・管理ノウハウを提供し、ATM運営・管理負担の軽減とお客さまの利便性向上に寄与し、提携金融機関等と強い信頼関係を築いてきました。

第4世代ATMの新機能の活用

セブン銀行ATMは、提携金融機関等の課題やニーズを汲取り、より便利にご活用いただけるよう、主要国際ブランドの海外発行カードや各種電子マネー、さらにはバーコード決済等の新たな決済サービスの取扱いを可能にするなど、セブン銀行ATM独自の差別化された付加価値を日々進化させています。

第4世代ATMでは新機能を活用し、さらに多くの差別化されたATMサービスを付加し、提携金融機関等のATM運営・管理負担の軽減とお客さまの利便性向上に努めてまいります。

より便利な暮らしを目指して

引続きさまざまな新サービスの創造にチャレンジし、技術革新や世の中の変化に対応した、だれでも・かんたんに・安心して、本人確認手続き等の非金融も含めた各種サービスが利用できる、より便利な暮らしの実現を目指します。

全国25,000台以上の
ATMチャネル

非対面での口座開設受付の実証実験を実施

本人確認のお手続き方法は、2パターンをご用意し、お客さまがお手続き方法を選択できるようにしました。

パターン1 顔画像照合▶専用Webサイト登録



1 ATMで運転免許証とATM備付けカメラで撮影した顔画像を照合



2 顔画像照合完了後に出るご利用明細票のQRコードをスマートフォンで読取り



3 専用Webサイトでお客さま情報を登録

パターン2 専用Webサイト登録▶顔画像照合



1 専用Webサイトでお客さま情報を登録



2 登録後に表示されるQRコードをもってATMに行く



3 ATMで運転免許証とATM備付けカメラで撮影した顔画像を照合

※本実験は、犯罪収益移転防止法改正（2018年11月付）で認められた本人確認の実用化を目指し検証するものであり、本実験での口座開設手続きにおける本人確認は、従来通り本人限定受取郵便等を活用し、実施いたしました。

された選ばれるATMへ

ATM受託と運営実績

これまでセブン銀行は、2007年6月野村證券株式会社のATM設置、運営の受託を皮切りに、2018年12月には株式会社南都銀行の店舗外ATMを広域に多数受託しました。

また、2019年11月には、株式会社東京スター銀行の店舗内ATMを全国にわたって多数受託することに合意し、2020年9月より順次置換えを開始する予定です。

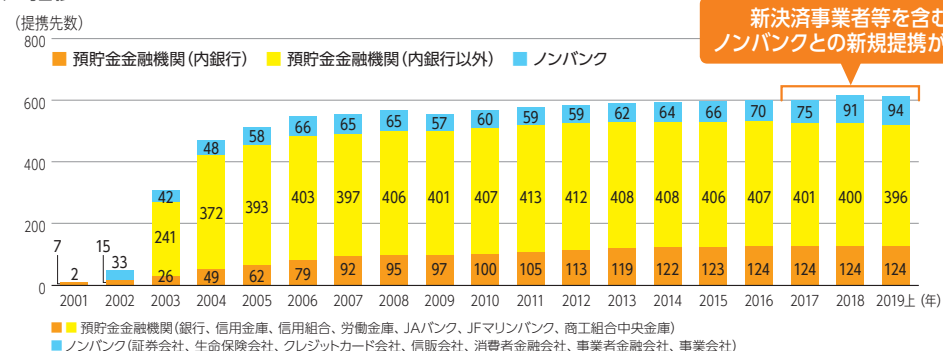
なお、2019年10月末時点の提携金融機関等からのATM受託、運営実績は、28社、457台となっています。

より多くのお客さまにご利用いただけるように 時代の変化に即した新たな提携先を拡大

セブン銀行では、より多くのお客さまにご利用いただけるよう、日本全国の金融機関と積極的に提携を進めてきました。ATMの地域展開の拡大に歩調を合わせ、地域の預貯金金融機関との提携を積極的に進めるとともに、都市銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、JAバンク、JFマリンバンク、商工組合中央金庫、証券会社、生命保険会社、クレジットカード会社、信販会社、消費者金融会社、事業者金融会社、また、海外発行カードの国際ブランド等、様々な金融機関とのATM利用提携を推進してきました。そして近年では、スマートフォンなどの普及により、新たに決済分野へ参入した金融機関以外の提携先や電子マネー発行会社等との新規提携を積極的に進めています。

キャッシュレス決済の進展に合わせ、リアルな接点であるATMをチャージポイントとして利用するなど、デジタルとアナログ、バーチャルとリアルの橋渡しとした新たなATM利用スタイルでの取引きが増加しています。

● 提携先数の推移



※一部サービスのロゴマークを掲載しています。

● 認知向上に向けた取組み

セブン銀行ATMで現金チャージ取引きが行えることをより多くの方に知っていただくため、提携先との共同キャンペーンやテレビCM、交通広告等、積極的に実施しています。

● 取組み事例



東京・新宿のATMコーナーでの「PayPay」ラッピング



au WALLETとの共同キャンペーン



テレビや電車内ビジョンでの動画広告

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals:SDGs) の達成に貢献

セブン銀行が大切にしている価値観は、持続可能な社会に向けた「社会課題解決への貢献」と「企業価値向上」の双方の達成に対して「誠実」かつ「真面目」に取組み、「社会の期待と信頼」に応えていくことです。

その実現に向け、2018年度に5つの「重点課題」を策定しました。この5つの「重点課題」に、当社が持つ強みを活かして取組むことで、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献します。

● 各重点課題に応じたSDGs達成への貢献



環境負荷の低減

環境問題、世界の生物多様性の劣化は、資源や経済といった、企業の事業そのもののゆくえにも大きく関係する、深刻な課題です。特に気候変動リスクは、海水面の上昇や、異常気象の増加、農漁業への影響など、将来世代まで影響の及ぶ重大な脅威となりえることから、環境負荷低減に向けた取組みが必要です。

セブン銀行は、事業を通じ、技術革新の成果を取入れた金融サービスの提供により環境負荷の低減に取組むとともに、従業員の環境意識の向上とグループ各社と協働での環境保全活動を推進していきます。

● 従業員による環境保全活動

地球環境保護や地域社会に貢献することを目的に、従業員は当社独自の環境活動をはじめ、グループ全体による各種ボランティア活動に積極的に参加しています。

2019年には、セブン・イレブン記念財団との連携による「セブンの森」での森林保全活動や地域清掃活動、フードバンクへの食品の寄贈、「eco検定®」の取得促進等、様々な取組みを行いました。

このような活動は、従業員一人一人の環境意識の向上に寄与しています。

※東京商工会議所が主催している環境に関する検定試験。正式名称は「環境社会検定試験®」。



2019年10月 高尾の森自然学校での森林保全活動